

エコライフ・フェア 2011「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」

活動報告

2011年6月

「ラムサール条約40周年記念 湿地の恵み展
～ラムサール条約湿地の観光と物産～」実行委員会

2011年6月4日（土）、5日（日）の2日間にわたり、環境省が主催する「エコライフ・フェア 2011」が東京都渋谷区の代々木公園にて開催されました。ラムサール条約登録湿地関係市町村会議、ラムサールセンター（RCJ）、および日本国際湿地保全連合（WIJ）が共催し「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産～」と題したブースを同イベントに出展しました。

同イベントへの出展6年目となる今回は、主催3団体に加えて、全部で17の関係自治体・団体の参加がありました（資料1）。当日は、そのうちの6団体から派遣された11名の参加団体担当者をはじめとして、RCJのボランティア、実行委員会スタッフ、そして一般ボランティアなど約30名が参加しました。

来場者の出足も好調で、ブース受付で手渡される「湿地クイズ」参加者は1日目554人・2日目320人と、例年を上回る盛況ぶりでした。来場者は、クイズを楽しみながら物産やポスター等の展示を回っていました。おかげさまで、今年も多くの方に各湿地の魅力を実感し、ラムサール条約について知っていただくことができましたことをご報告申し上げます。

<活動の詳細>

○「湿地じまん」パンフレットの編集・配布

今回の「湿地の恵み展」参加団体から情報をお寄せいただき、「自慢したい！湿地の恵みと人々の暮らし」と題したパンフレットを作成しました。参加湿地の観光・物産・湿地での活動の情報をA3カラー両面2ツ折りの紙面に編集し、来場者に配布しました。

○展示の流れ

環境省提供の「日本のラムサール条約湿地」チラシ（37箇所の条約湿地を紹介・解説）を配布しながら、ブースへの呼び込みを行いました。

展示はブース入り口から出口に向かって、日本のラムサール条約湿地を南から北上するように配置しました。ポスター・パンフレットと物産を、湿地ごとに展示しました。

○湿地クイズ

来場者は、ブース左手の受付で「湿地クイズ」を受け取り、回答しながら展示を見て回りました。「湿地クイズ」は子ども向けの入門編と一般向け3種の計4種類があり、それぞれラムサール条約や日本の37条約湿地に関する問題を掲載しています。ブース中央には参加団体から派遣された担当者が並び、来場者に直接各湿地について解説しました。

○クイズ回答・物産の配布

ブース右手にはクイズの回答コーナーがあり、ラムサールセンターや一般のボランティアに担

当いただきました。答え合せを終えた来場者は、湿地にちなんでくじを引くことができ、結果に応じた景品を持ち帰りました。景品には、参加団体からお寄せいただいた物産（焼き昆布、羊羹、飴、お米など）や各湿地にちなむグッズ（ポストカード、バッジ、キーホルダーなど）を活用させていただきました。（資料2）

○募金活動

「湿地募金」と題した募金活動では、募金のお礼に各地の物産等を差し上げました。2日間で合計13,665円が寄せられました。参加団体の皆様のご協力と、当日ボランティアの声かけのおかげです。募金は、地球環境基金に寄付させていただきます。

○交流会

1日目の夜（6月4日17時半～代々木公園近くのレンタルスペースにて）に、参加団体とボランティアによる交流会を開催しました。交流会は、参加団体からお寄せいただいた湿地の恵みの試飲・試食会も兼ねて行いました。約25名が参加し、全国各地の湿地関係者が楽しく情報交換する場となりました。

なお、出展には、2010年度に引き続き、環境省およびダノンウォーターズオブジャパンのご協力があり、それぞれラムサール条約のチラシやパンフレット、「エビアン」水ボトル480本をご提供いただきました。また、今年度の新たな試みとして、ダノンには「エビアン「水の学校」」としてブースに特別出展いただきました。

<終わりに>

エコライフ・フェア運営事務局の発表によると、フェア全体の来場者数は2日間で、72,622人でした（4日：30,769人、5日：41,853人）。1990年から始まったエコライフ・フェアは今年で23回目、2006年から出店している「湿地の恵み展」は6回目を数えます。

今年は、東日本大震災からわずか3ヶ月での開催とあって、フェアでは節電をはじめとする「復興アクション」が呼びかけられていました。「観光や物産を通してラムサール条約湿地を楽しみ、活用し、保全につなげよう」という恵み展の趣旨には、こうした復興支援の取り組みとも重なる部分があるように思われます。

さて、来年2012年の6月、第11回ラムサール条約締約国会議（COP11）がルーマニアで開催されます。折しも、COP11のテーマは“Wetlands, Tourism, and Recreation”「湿地、観光、レクリエーション」です。

COP10への準備があり、エコライフ・フェア2012への出展は今のところ予定しておりませんが、今後も折をみてこのような機会を設けていきたいと思えます。

最後に、参加・協力団体の皆様、ご協力いただいたボランティアの皆様に、心より御礼申し上げます。

資料1. 「湿地の恵み展」参加団体（全17団体、19湿地）

「参加形態」に「展示」と記載されているのが展示参加の団体、「派遣」は展示に加え当日担当者を派遣いただいた団体です。

（参加形態／団体名／条約湿地名）

展示	釧路国際ウェットランドセンター	釧路湿原、阿寒湖、厚岸湖・別寒辺牛湿原
展示	NPO 法人霧多布湿原トラスト	霧多布湿原
派遣	雨龍沼湿原を愛する会	雨龍沼湿原
展示	網走市	濤沸湖
派遣	豊富町、NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク	サロベツ原野
展示	北海道	北海道内登録湿地（12箇所）
展示	鶴岡市	大山上池・下池
派遣	新潟市（西区）、（佐潟と歩む赤塚の会）	佐潟
展示	片野鴨池周辺生態系管理協議会（加賀市）	片野鴨池
派遣	NPO 法人藤前干潟を守る会	藤前干潟
派遣	若狭市	三方五湖
展示	琵琶湖ラムサール条約連絡協議会（滋賀県）	琵琶湖
展示	串本町	串本沿岸海域
派遣	鳥取県	中海
展示	九重町	くじゅう坊ガツル・タデ原湿原
展示	漫湖水鳥・湿地センター	漫湖
特別参加	エビアン「水の学校」（ダノンウォーターズオブジャパン）	エビアン湿地

資料2. 参加団体ご提供の「湿地の恵み」一覧

- ・網走市（濤沸湖） 天才ビートくん（甜菜糖のあめ）、小皿（クリオネ、サーモン）
- ・サロベツエコ・ネットワーク 白いプリン
- ・釧路国際ウェットランドセンター（釧路湿原、阿寒湖、厚岸湖・別寒辺牛湿原）
まりもようかん、まりも茶、ザリガニチップス、釧路市の水、
オオハクチョウ紙飛行機キット、タンチョウ折り紙
- ・霧多布湿原トラスト 焼き昆布
- ・雨龍沼湿原を愛する会 雨龍米、道の駅せんべい、雨龍の味噌、雨龍にんにくしょうゆ、龍の舌鼓（饅頭）、お米ストラップ
- ・藤前干潟 劇団シンデレラオリジナルCD、COP10 ガールズ写真立個（劇団シンデレラ提供）
- ・串本町 ラムサールキャラクターさんごストラップ
- ・若狭町（三方五湖） 梅干、梅酒
- ・ダノンウォーターズオブジャパン エビアン

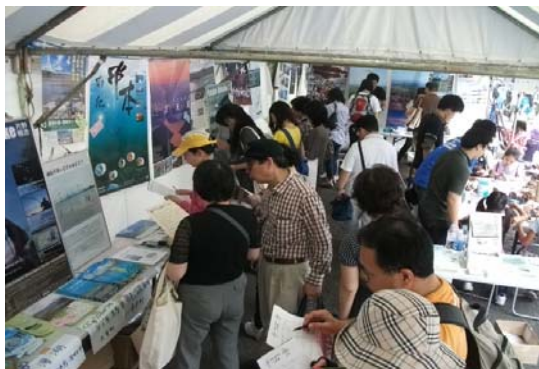
また、「蘭牟田池のベッコウトンボを保護する会」の山元正孝様のご厚意で、いも焼酎6本、祁答院漬をお送りいただきました。



受付からブース全体を望む



入り口から出口に向かって条約湿地を北上する



展示にクイズのヒントを探す来場者



蓮の花托を利用した「トバスフラワー」作成 (佐潟)



物産を集めたユニークな景品に「これ何ですか？」



交流会では、担当者やスタッフからそれぞれの「湿地の恵み」を紹介



交流会の始めには、ラムサールセンターの「KODOMO ラムサール」ブースのために名古屋市藤前干潟からやってきた「劇団シンデレラ」が駆けつけ、小さなパフォーマンスをしてくれました



1日目集合写真